

伊根町の集中豪雨被害で、府議団が現地調査とお見舞い、京都府に申し入れ

2002年9月7日未明から早朝にかけ、与謝郡伊根町伊根地区、朝妻地区において時間雨量80ミリ近くを記録する集中豪雨があり、床上浸水、床下浸水、道路、河川、田畑の損壊など多くの被害が発生しました。

7日、連絡を受けた府会議員団から松尾孝副団長がただちに現地へ急行、尾崎くにお宮津与謝府会予定候補とともに被害の調査を行い、要望をお聞きしました。

9日、松尾副団長と新井進幹事長は、現地の状況をふまえ、府に対して申し入れを行ないました。対応したのは消防防災課です。

調査の結果、この災害には重大な問題が含まれており、十分な検討と善処を必要であると申し入れたものです。

申し入れの内容は、以下の通りです

伊根町の集中豪雨被害についての申し入れ

7日未明から早朝にかけ、伊根町伊根地区、朝妻地区において集中豪雨により、床上浸水、床下浸水、道路、河川、田畑の損壊など、かなりの被害が発生しました。

この災害は、記録的な局地的集中豪雨によるものではありませんが、いくつかの重大な問題をはらんでいると考えられます。

以下数点について、十分検討のうえ、善処されるよう申し入れます。

記

1、人的被害がなかったことは幸いだが、被災者への見舞い、激励をはじめ、道路、河川、

農地等の復旧に全力をあげること。町に対する必要な支援を行うこと。

- 2、4時30分に警報が発令されたが、その時点ですでに被害が発生し始めており、発令が遅れたことは否めない。気象庁（台）とよく協議し、今後このような遅れをきたさないようされたい。
- 3、消防団への出動要請も被害発生後となっており、警戒態勢がまったくないなかで床下浸水被害などが広がっている。局所的集中豪雨とはいえ。この点についてもよく検討し、今後に生かされたい。
- 4、伊根立石区での被害は、急傾斜の裏山からの沢水が鉄砲水になって、排水路がまったく用をなさなかったために起こっている。今後に備え、抜本的対策を検討する必要がある。
- 5、朝妻地区での被害は朝妻川の氾濫によるものであが、記録的な豪雨とはいえ、朝妻川の改修がおこなわれておれば、防止しえたものと思われる。井室区などから改修について強い要望がだされていたところであり、災害復旧とあわせて、早急を実施すること。

以上